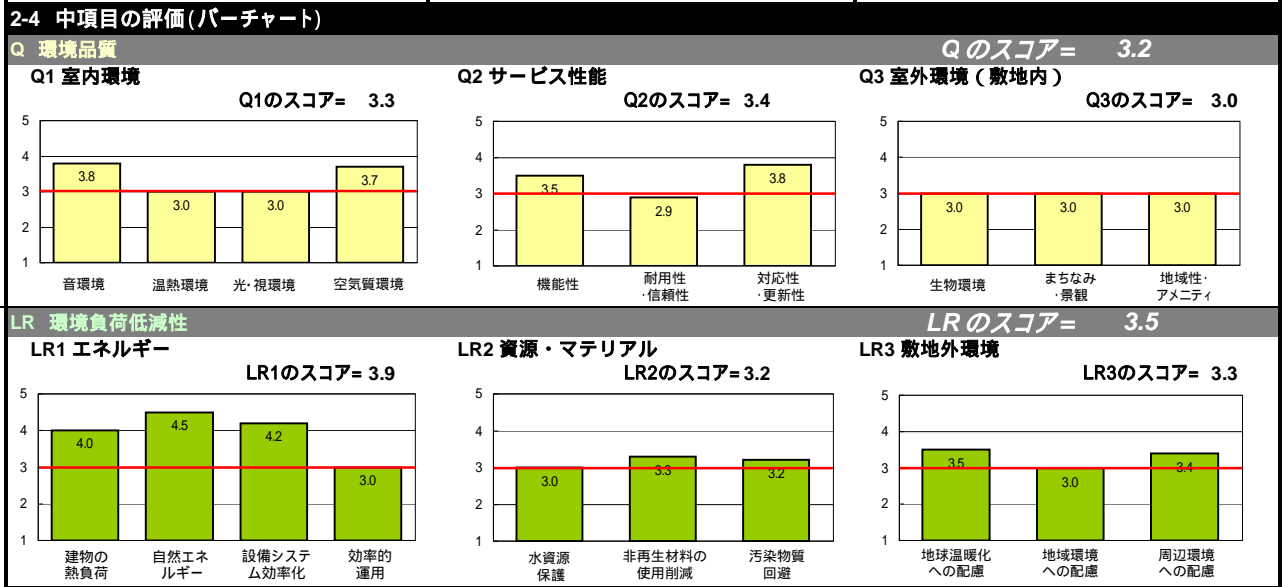
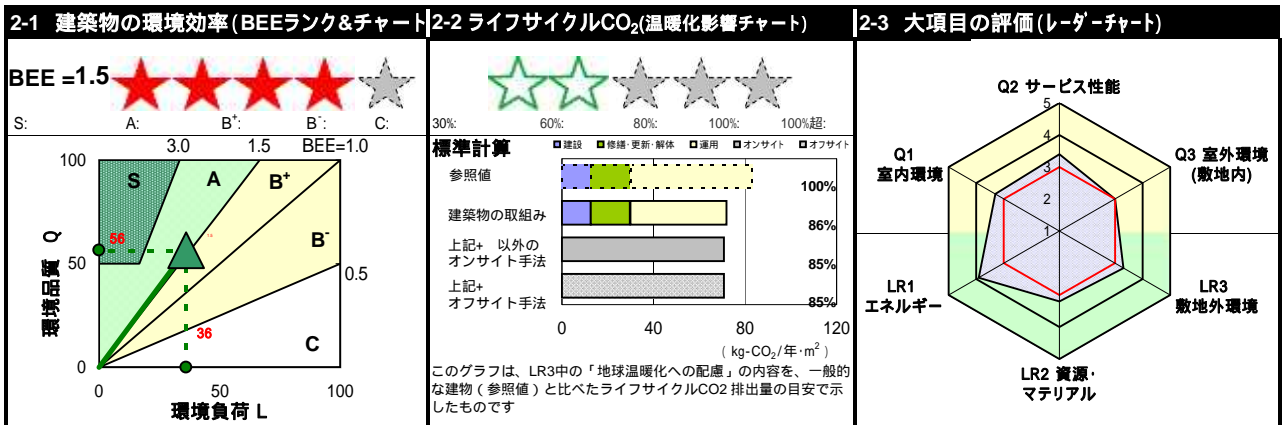


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神奈川工科大学(仮称)新講義棟	階数	地下1F地上7F
建設地	厚木市下荻野1030	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分		年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 0.0	評価の実施日	2012年9月10日
敷地面積	4,636 m <sup>2</sup>	作成者	(株)小島組
建築面積	2,070 m <sup>2</sup>	確認日	2012年9月10日
延床面積	12,776 m <sup>2</sup>	確認者	(株)小島組



3 設計上の配慮事項		
総合 環境負荷を削減しエコキャンパスを目指す		その他
Q1 室内環境 学生や教職員が快適な環境を享受できるよう、各環境の向上に努めている	Q2 サービス性能 建物の長寿命化を目指し、大スパン化によるフレキシビリティの向上に努めている	Q3 室外環境(敷地内) まちなみ、景観に配慮した建築計画を目指す
LR1 エネルギー 太陽光発電・ナイトバジ等の採用を目指し、省エネルギーの実現に努める	LR2 資源・マテリアル 環境負荷の少ない材料の積極採用に努める	LR3 敷地外環境 建物高さを低く抑え、敷地外への日影影響を極力小さくするようにする

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい